

※記載例は例示です。実際に事故が発生した状況に即して報告書を作成してください。

記載例

第7号様式（第9条関係）

令和〇年〇〇月〇〇日

介護予防・日常生活支援総合事業における事故等報告書

立川市長 殿

所在地、名称、代表者の職・氏名は事業主体（法人）です。

報告者

所在地 立川市錦町〇-〇-〇
名 称 株式会社〇〇総合事業
代表者の職・氏名 代表取締役 立川 花子 印

介護予防・日常生活支援総合事業のサービス提供の際に発生した事故等について、次のとおり報告します。

		事業所番号		1370000000							
事故等が発生した事業所	名称	〇〇総合事業デイサービス									
	所在地	立川市栄町〇-〇-〇									
サービスの種類	☐ 訪問型	☐ 身体介助 ☐ 家事支援 ☒ 1日デイ ☐ 半日デイ									
	☒ 通所型										
利用者	フリガナ	スズキ フユコ		保険者名	立川市						
	氏名	鈴木 冬子		被保険者番号	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇						
事故等の内容	発生日時	令和〇年 〇〇月 〇〇日 〇〇時〇〇分									
	発生場所	食堂									
	事故等内容（被害状況等）	転倒による右大腿骨頸部 骨折 昼食後、椅子から立ち上がろうとした瞬間にバランスを崩して右側に傾き転倒した。									
	事故等原因（原因、経緯等）	身体の自立度は比較的高い状態であったが、歩行には杖を使用していた。 椅子からの立ち上がり時にふらつくことがあり、転倒リスクが高いため、立ち上がろうとした場合には声掛けをするようしていたが、事故発生時には介護職員が他の利用者に対応しており、注意が行き届かなかった。									
	対応状況	看護職員に報告し、バイタルサイン測定を実施。大腿部に痛みの訴えがあり、骨折の可能性があると判断し、管理者から救急要請した。家族（長男）へ連絡し状況を説明。									
	利用者の状況	レントゲン検査の結果、右大腿骨頸部骨折と診断された。〇〇病院に入院し、手術予定。									
	今後の対応（再発防止策等）	職員のミーティングで事故について情報共有を行い、歩行時の見守りを徹底する。危険予測ができるように研修を実施する。									
	備考（損害賠償等）	現在、保険会社と今後の対応について相談している。保険の適用について決まり次第、ご家族と話し合いの場を設ける予定。									

※事故現場の平面図、写真等を添付してください。

介護予防・日常生活支援総合事業のサービス提供の際に発生した、報告すべき事故の内容については介護保険の「[介護サービス等における事故発生時の報告に関する取扱要領](#)」に準じます。